



國家朕之主意の政を
 必き議院より國政系
 處に於て是れ以上議院に
 趨勢政黨に向背を新
 澤く委紙降き、悔意のりさる
 固より悔なき所行に苟も
 大改の両面、尚候補者
 立ち上り、此、有意せざる
 ありさるは、而更に、帝論を
 所行し、然れども、今や世界の大
 変に際し、其終末結果未
 定、易に測るべからざるに、我
 國に無難陸替不恰、
 善、保つれ、立於、動亂
 は、遂に、何事極、多きを、
 あり、のり、東亞、安危、
 あり、當、此の、二大世局、
 進路、由、入、空、ま、
 此大華運、處、一、能、
 極、臨、み、要、應、
 國運を、開、展、東、亞、
 活、動、保、持、せ、ん、と、
 先、の、道、内、其、統、一、
 一、平、と、保、つ、上、下、
 其、力、の、外、一、行、
 以、知、
 内、之、
 後、令、
 法、
 特、
 け、
 時、
 並、
 能、
 國、
 一、
 政、
 共、
 同、
 能、
 也、

山縣有朋書簡 大隈重信宛

大正5年4月

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library 14-B016(2) -1

